

平成23年度事業報告並びに決算報告

社 団 法 人 学 士 会

平成 2 3 年 度 事 業 報 告

(平成 2 3 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 4 年 3 月 3 1 日)

事 業 概 況

平成 2 3 年度の本会は、新法人への移行対応をはじめとして、会員の減少の防止、収支の改善、既存事業の見直し等の課題を掲げながら、各事業を展開してまいりました。

平成 2 3 年度の各事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、何点かにつきその概要を説明致します。

(1) 本会にとっての最重点課題である公益法人制度改革への対応について、本会は、本年度の会員通常総会（平成 2 3 年 6 月 2 3 日開催）において、新法人移行後の「新定款案」及び新法人移行に際し必要となる「公益目的支出計画」の骨子等を決定し、その上で平成 2 4 年 3 月 1 5 日開催の第 2 回評議員会において新法人移行に関する最終的な決定を行いました。本会は、評議員会の決定に基づき平成 2 4 年 3 月 2 0 日付にて内閣総理大臣宛に「一般社団法人」への移行認可申請を行いました。

認可申請に対する当局の審査が順調に進めば、本年 6 月中にも実質的な認可決定がなされる予定であり、本会は平成 2 5 年 4 月 1 日をもって「一般社団法人」に移行することとなります。

(2) 本会は、学士会館の運営を(株)学士会館精養軒に委託しておりますが、本年度の会館運営事業は、前年度末に発生しました東日本大震災の影響による会合・宴会等の延期や中止により、会館利用者数・会館売上ともに、前年に比べて減少となりました。

また、同震災による学士会館の躯体及び内部造作等への目に見える影響は殆どありませんでしたが、周辺道路や敷地内駐車場の路盤沈下等の影響により、塀・駐車場・建物外周部の一部に破損を生じ、駐車場の全面補修等予定外の補修工事を実施することになりました。

(3) 明治 2 0 年の創刊となる『學士會会報』の発行や関係七大学を繋ぐ総合情報誌『U7』の発行を主とする会報発行事業は、新法人移行後においても公益目的事業の柱であり、本会にとって最も重要な事業の一つです。

本年度は、『學士會会報』の特集テーマに「全国七大学総合体育大会（旧七帝戦）」の 5 0 周年に合わせた「スポーツ」（7 月号）や「関西」（1 1 月号）、また日本の条約採択 4 0 周年となる「世界遺産」（3 月号）を取り上げた他、緊急特集として「東日本大震災」（9 月号）を取り上げました。会員の皆様にとって関心の高い、タイムリーな話題を提供できるように努めるとともに、今後とも読み易く且つ内容の濃い誌面づくりに努めてまいります。

(4) 講演会事業は、伝統ある午餐会・夕食会の開催（原則、毎月各 1 回）の他に、新たな試みとして若手会員の交流を目的とした「若手交流会」を 3 回にわたり企画・実施しました。当交流会では講演会の後に会員同士の名刺交換や懇談の場を設けるなど、従来の講演会とは異なる内容とした他、6 月

及び7月開催の交流会には、平成23年度卒業学士等の新入会員を招待し、新たな会員層の開拓にも努めました。

また、昨年度から試行的にスタートしました「関西茶話会」（関西地区講演会）を本格的に始動させ、本年度は4回開催するとともに、京都大学総合博物館や大阪大学総合学術博物館の見学会を企画・実施しました。

今後とも、より多くの会員の皆様が参加できる催しを実施できるよう努めてまいります。

(5) 本会にとっての大きな課題は会員数の減少です。本年度は「会員減少化の歯止めと新規会員の獲得」を重点課題に掲げ、会員の皆様にも協力を呼びかけながら組織的に取り組んでまいりましたが、残念ながら会員数の減少に歯止めをかけることはできませんでした。会員数の増減内容は10頁の記事のとおりですが、平成23年末会員数は55,922名で、対前年度末4,258名の減少となりました。

一般社団法人移行後の新定款では、新たに「学生会員」の制度を設けています。新規会員の獲得、既存会員の退会防止に向け今後とも全力で取り組んでまいります。会員の皆様も学生会員候補者を含めた新会員のご紹介・入会促進についてご協力頂くようお願い致します。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

1. 学 士 会 館

学士会館の利用実績は次の通りです。

□ 会 議 室 利 用 回 数	5,560回	} 計 303,457名 (1日平均848名)
□ 会 議 室 利 用 人 員	154,167名	
□ 宿 泊 室 利 用 人 員	5,859名	
□ レストラン等利用人員	143,431名	

但し、読書室、七大学連絡事務所、囲碁・将棋・撞球（同好会室）の利用は除く。

2. 会 報 （ 『 學 士 會 會 報 』 及 び 『 U 7 』 ）

本会会報である『學士會會報』と『U7』を毎月交互に発行致しました。

『學士會會報』は第888号を平成23年5月、第889号を7月、第890号を9月、第891号を11月、第892号を平成24年1月、第893号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。総頁数は952頁、発行部数は345,700部に達しました。

また『U7』は第37号を4月、第38号を6月、第39号を8月、第40号を10月、第41号を12月、第42号を平成24年2月にそれぞれ発行し、発行部数は345,400部となりました。

3. 講演会、談話会、その他の集会

(1) 午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1, 167名の参加がありました。なお、6月は「第1回若手交流会」、8月は「第2回サマーコンサート in 学士会館」の開催に伴い休会、また12月は定例により休会いたしました。

TPPと国益	鈴木 宣弘 氏 (平成23年 4月例会)
エネルギー生成系で知る病気の成り立ち	安 保 徹 氏 (平成23年 5月例会)
裁判員制度について	松 尾 浩也 氏 (平成23年 7月例会)
琉球と沖縄という名称の由来	小 玉 正任 氏 (平成23年 9月例会)
「いのち」を知り生かす身心一体科学	跡 見 順子 氏 (平成23年10月例会)
縦に書け、縦に考えよー縦と横の文化学ー	石 川 九楊 氏 (平成23年11月例会)
ありがとう！スペースシャトル	吉 富 進 氏 (平成24年 1月例会)
次の世代のための日本経済の再生	米 倉 弘昌 氏 (平成24年 2月例会)
大学の前衛としてー東京大学総合研究博物館の「現在」	西 野 嘉章 氏 (平成24年 3月例会)

(2) タ 食 会

本年度は次の通り、午餐会と同様に、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1, 176名の参加がありました。なお、4月は東日本大震災の影響により、また8月は定例により、1月は「新春講演会」の開催に伴い休会いたしました。

メディアの変化と表現の可能性の進化	澤 本 嘉光 氏 (平成23年 5月例会)
無関心な《神々》の陰謀ードストエフスキーと現代	亀 山 郁夫 氏 (平成23年 6月例会)
北朝鮮、中国の動向と我が国の安全保障	西 元 徹也 氏 (平成23年 7月例会)
レスキューロボットの現状と未来	田 所 諭 氏 (平成23年 9月例会)
2011年東北地方太平洋沖地震とその後の地殻活動	平 田 直 氏 (平成23年10月例会)
頭痛、めまい、耳鳴りは天才の証！？	
～日本発の新病名“脳過敏症候群”を提唱した経緯について～	清 水 俊彦 氏 (平成23年11月例会)
福島事故後のエネルギー政策	山 地 憲治 氏 (平成23年12月例会)
「京」コンピュータと計算科学	平 尾 公彦 氏 (平成24年 2月例会)
浮体式洋上風力発電の最新動向と今後の期待	経 塚 雄策 氏 (平成24年 3月例会)

(3) 記 念 講 演

本年度は次の通り、記念講演を開催し、372名の参加がありました。

ノーベル化学賞を受賞して	鈴 木 章 氏 (平成23年 7月)
--------------	--------------------

(4) 新春講演

本年度は次の通り、新春講演を開催し、58名の参会がありました。

日本の競争力 出口 治明氏 (平成24年 1月)

(5) 関西茶話会

本年度は次の通り、関西地区の会員を対象とした茶話会を開催し、延165名の参会がありました。

第1回 ダークマター (暗黒物質) の権威が語る宇宙の不思議

—室生寺の杉の年輪から太陽系外惑星探査まで—

村 木 綏 氏 (平成23年 4月16日)

第2回 禅とは? ~臨済宗大本山の和尚が語る禅の本質、禅問答、そして禅文化~

松 山 大 耕 氏 (平成23年 6月25日)

第3回 文明を結ぶ—京都大学所蔵エジプト資料がつなぐモノとヒト—

泉 拓 良 氏 (平成23年10月 8日)

第4回 マチカネワニと科学リテラシーの向上

江 口 太 郎 氏 (平成24年 2月 4日)

(6) 若手交流会

本年度は次の通り、平成卒の会員を対象とした若手限定交流会を新規開催し、延260名の参会がありました。

第1回 「ライフネット生命の挑戦」~私はなぜ生命保険会社を立ち上げたのか~

岩 瀬 大 輔 氏 (平成23年 6月27日)

第2回 「ものづくり立国」としての基盤強化について

榊 原 定 征 氏 (平成23年 7月29日)

第3回 陸前高田市の現状と課題

久保田 崇 氏 (平成24年 1月27日)

(7) 見学会・講演会

本年度は次の通り、植物園及び博物館の見学会・講演会を開催し、延173名の参会がありました。

「小石川植物園見学会・講演会 (演題: 小石川植物園の昔と今)」

邑 田 仁 氏 (平成23年 4月18日)

「京都大学総合博物館見学会」

泉 拓 良 氏

塩 瀬 隆 之 氏 (平成23年11月27日)

「大阪大学総合学術博物館見学会」

江 口 太 郎 氏 (平成24年 3月 3日)

(8) サマーコンサート in 学生会館

平成23年8月22日、第2回サマーコンサートを昼の部、夜の部の二部構成で開催し、311名の参加がありました。

(9) ウインターコンサート in 学生会館

平成23年12月24日、第2回ウインターコンサートを昼の部、夜の部の二部構成で開催し、348名の参加がありました。

(10) 忘年家族会

平成23年12月23日、学生会館において忘年午餐会・晚餐会を開催し、東京藝術大学の学生・出身者による管楽器コンサートを開催しました。460名の参加がありました。

(11) 新年祝賀会

平成24年1月5日、松尾理事長の挨拶に続いて、大崎常務理事の発声にて乾杯が行われ、賀宴、米澤会員による謡曲披露のあと、若手女流演奏家5名による邦楽囃子で新年を祝いました。96名の参加がありました。

4. 庶務要件

(1) 会員通常総会

本年度会員通常総会は、平成23年6月23日学生会館において開催し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

議案(1) 平成22年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表の注記の承認

議案(2) 一般社団法人移行後の「新定款案」及び「公益目的支出計画」の基本的枠組みについて

議案(3) 定款第12条による任期満了評議員の改選並びに補欠評議員の選挙

【当選評議員】

(東京大学)

[法学部関係]

塩野 宏

佐々木 毅

岡松 壮三郎

本田 勝彦

菅野 和夫(新)

増淵 稔(新)

[医学部関係]

[薬学部関係]

織田 敏次

柴田 承二

[工学部関係]

伊理正夫
菅野卓雄
伯野元彦

吉川弘之
木村好次

[文学部関係]

大岡信

樺山紘一

[理学部関係]

廣田榮治

[農学部関係]

森謙治

[経済学部関係]

諸井勝之助
石井寛治

江村稔

[教養学部関係]

本間長世

(京都大学)

[工学部関係]

松尾稔

[文学部関係]

礪波護

[農学部関係]

沢田敏男

(東北大学)

[法学部関係]

及川昭伍

[医学部関係]

神津康雄

[工学部関係]

阿部博之

[理学部関係]

西村純

[経済学部関係]

鈴木三郎助

(九州大学)

[農学部関係]

和田光史

[経済学部関係]

江頭年男

(北海道大学)

[医学部関係]

篠原猛

[工学部関係]

竹鶴威

[農学部関係]

堀田国元

(名古屋大学)
[工学部関係]
山本賢三

【補欠当選評議員】

(東京大学)
[工学部関係]
久保田弘敏 (本多健一 評議員 後任)

(京都大学)
[工学部関係]
松本 紘 (長尾 真 評議員 後任)

(2) 評 議 員 会

□平成23年6月23日、本年度第一回評議員会を学士会館において開催し、大内評議員会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議 案 1 期中退任理事の後任理事選任について

議 案 2 平成22年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表の注記の承認

(平成3年3月14日開催の評議員会決議により会員通常総会と同時審議)

□平成24年3月15日、本年度第二回評議員会を学士会館において開催し、大内評議員会議長のもとで次の議案を審議し、承認可決致しました。

議 案 1 平成24年度事業計画案及び予算案の承認について

議 案 2 一般社団法人への移行認可申請について

議 案 3 代議員選挙規則について

(3) 理事会及び理事・監事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

□4月理事会(平成23年4月28日)

1. 平成22年度決算報告の概要について
2. 役員報酬規程の改訂について
3. 新定款案について
4. 欠員評議員の後任候補について
5. 理事の退任及び後任候補の選任について

報告(1) 新卒業学士等入会状況について

(2) 東日本大震災の影響と会館補修工事の実施について

(3) 学士会館運営委員会報告

□ 5月理事・監事会（平成23年5月26日）

1. 平成22年度事業報告並びに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記について
 2. 会員通常総会議案（「新定款案」及び「公益目的支出計画」の基本的枠組み）について
 3. 欠員理事の後任候補について
 4. 欠員評議員の後任候補について
- 報告（1）学士会館運営委員会報告

□ 6月理事会（平成23年6月23日）

1. 欠員評議員の後任候補（会員通常総会第3号議案）について
2. （本日開催）評議員会・会員通常総会について

□ 6月臨時理事会（平成23年6月23日）

1. （定款第14条に基づく）理事長の互選について

□ 7月理事会（平成23年7月14日）

1. 常務理事の選任について
 2. 会報編集委員の委嘱について
- 報告（1）当選評議員の就任について
- （2）七大戦開会式（7月2日開催）について
 - （3）関西事務所（関西学士会）の移転・統合について
 - （4）その他

□ 9月理事会（平成23年9月22日）

1. 「新法人移行準備委員会」の設置及び新法人への移行準備について
- 報告（1）「建築設備修繕特定資産」目的の債券購入について
- （2）榊学士会館精養軒の上半期報告（2月～7月）
 - （3）夏期期間中の営繕工事等
 - （4）東北地方太平洋沖地震 義援金募集結果

□ 10月理事・監事会（平成23年10月27日）

1. 平成23年度上半期会計報告について
- 報告（1）第1回「新法人移行準備委員会」報告
- （2）年末年始の学士会催しについて
 - （3）「建物設備修繕積立特定資産」及び「会員活動強化特定資産」繰入れ目的の債券購入について
 - （4）平成24年年間行事予定（理事・監事用）

□ 11月理事会（平成23年11月24日）

1. 新法人移行後の「新定款案」について—「新定款案」の修正について—
 2. 「会員氏名録」の来年度発行の見送りについて
- 報告（1）第2回「新法人移行準備委員会」報告
- （2）東北地方太平洋沖地震 義援金募集結果報告

□ 1月理事会（平成24年1月26日）

1. 平成23年度決算見込みについて
 2. 一般社団法人移行における「公益目的支出計画」について
- 報告（1）第3回及び第4回「新法人移行準備委員会」報告
（平成23年11月24日及び平成23年12月1日開催）
- （2）「会員紹介キャンペーン」の経過報告

□ 2月理事・監事会（平成24年2月23日）

1. 平成24年度事業計画案及び予算案について
 2. 一般社団法人への移行認可申請について
 3. 代議員選出規則の骨子について
- 報告（1）新法人移行時の役員の任期等の扱いについて
（2）伊藤国際学術研究センター（学士会分館跡地に建設）について
（3）新卒業学士他の入会勧誘について

□ 3月理事会（平成24年3月15日）

1. (株)学士会館精養軒の平成23年度決算について
 2. 評議員会の審議事項（評議員会第3号議案—代議員選挙規則案—）について
- 報告（1）（本日開催）評議員会について

（4）監 事 会（平成23年5月26日）

平成22年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査を行いました。

（5）常 務 会

毎月定期的に常務会を開催し、種々の会務を審議決定致しました。

（6）諸 委 員 会

ア. 会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

- | | | | |
|-----|-------|--------|-----------------|
| 第1回 | 平成23年 | 4月28日 | 会報第890号、会報第891号 |
| 第2回 | 平成23年 | 7月14日 | 会報第892号 |
| 第3回 | 平成23年 | 10月27日 | 会報第893号 |
| 第4回 | 平成23年 | 11月24日 | 会報第894号 |
| 第5回 | 平成24年 | 1月26日 | 会報第895号 |

イ. 学士会館運営委員会

学士会館運営の諸問題への対応や学士会の収益基盤を構成している会館事業の基本問題

を検討するため、富浦常務理事を委員長として昨年度設置された本委員会を本年度も継続して開催し、6回に亘る委員会での検討結果を「学士会館運営委員会報告」として纏め、理事会（5月理事・監事会）に答申しました。

第5回 平成23年 4月27日

第6回 平成23年 6月 3日

ウ. 新法人移行準備委員会

本委員会は、新法人移行に向けた具体的な準備を行うため理事会の下に設置され、大崎常務理事を委員長として平成23年9月以降7回に亘り開催され、新法人移行上の重要な課題につき検討を行いました。一般社団法人移行後の「新定款案」、「公益目的支出計画」、「代議員選挙規則」等について委員会としての成案をまとめ、理事会決定に至りました。

なお、本会は本委員会での検討結果を踏まえ、平成23年度第2回評議員会の最終決定に基づき、平成24年3月20日に一般社団法人への移行認可申請を内閣総理大臣宛行いました。

第1回 平成23年 9月22日

第2回 平成23年10月27日

第3回 平成23年11月24日

第4回 平成23年12月 1日

第5回 平成24年 1月26日

第6回 平成24年 2月 9日

第7回 平成24年 2月23日

エ. 趣味同好会

平成23年12月1日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、落語会を含めた委員会を開催、種々懇談を行いました。

(7) 会 員

本年度における会員の増減及び年度末会員数は次の通りです。

新 会 員	760名
逝 去 会 員	872名
退 会 会 員	1,676名
会費長期未納退会者	2,470名
差 引 減	4,258名
現 在 会 員 数	55,922名 (内 終身会員3,829名)

(注:「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が1,199名、平成21年度より、新たに制度化された「新終身会員」が2,630名になります。)

5. そ の 他

本会は、(株) 学士会館精養軒に学士会館の運営業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、本会が同社の株式を100%保有しております。同社の概要は次の通りです。

[株式会社学士会館精養軒の概要]

- 名 称 株式会社学士会館精養軒
- 所 在 東京都千代田区神田錦町3-28
- 代表者 代表取締役社長 石井 啓二
- 資本金 10,000,000円
- 売上高 1,549,257,178円 (平成23年度決算)

なお、本会との取引関係については、「平成23年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。(21 ページ)